

12月

図書館だより

NO.7



丸亀市立綾歌中学校 平成29年 12月号

2017年もあとわずかとなりました。今年一番心に残った本は何ですか？本を読んで泣いたり、笑ったり、怒ったり…、その時感じたさまざまな気持ちは心に蓄積され、みなさんを成長させてくれます。今月も読書イベントを企画していますので、素敵な本を探しに図書館へ足を運んでください。また、冬休み特別貸し出しも行いますので、年末年始に向けて忙しい時期ですが、時間を見つけて本を読んでくださいね。

今月の風物詩 冬至

12月22日頃。太陽が最も低い位置にあって、1年で最も夜が長く、昼が短い日です。



冬至かぼちゃ、冬至がゆ、柚子湯などで、厄払いや無病息災を願う風習があります。



漢字の日（12月12日）

一年間の世相を象徴する漢字を全国から募集し、その中から選ばれた一字を、京都の清水寺の貫主が毛筆で書きます。

2016年は「金」でしたが、はたして今年は何の字になるでしょうか？



クリスマスにおすすめの本

『34丁目の奇跡』

〈ヴァレンタイン・ディヴィス〉



アメリカで半世紀もの間読み継がれてきたクリスマス物語です。

ニューヨークシティ、マンハッタン34丁目にあるメイシー百貨店では、おもちゃ売り場のサンタクロースとして、一人の老人が雇われました。彼の名はクリス・クリングル。その風貌はサンタそっくりでした。

クリスマスイベント

12月1日(金)～18日(月)

読書週間スタンプカードに続いて、今月もいろいろなジャンルの本に親しんでもらおうと、文化委員がビンゴカードイベントを企画しました！

3マス×3マスのビンゴカードには、本の分類番号が書かれています。その分類の本を読むとスタンプを押します。ビンゴの数によってプレゼントがもらえますよ。

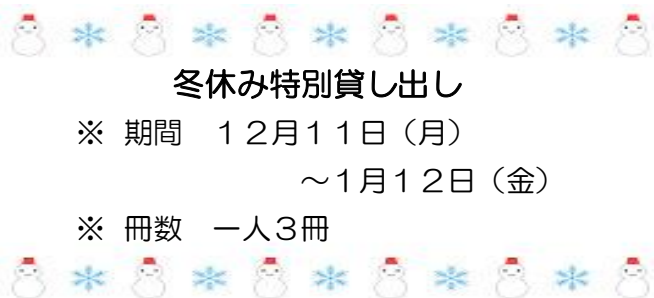
文化委員が選んだ、各ジャンルのおすすめ本も展示しているので読んでみてくださいね。

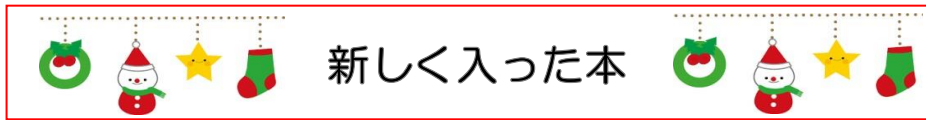


冬休み特別貸し出し

※ 期間 12月11日(月)
～1月12日(金)

※ 冊数 一人3冊





〈単行本〉

キラキラ共和国	小川糸	憧れの文豪からの葉書、大切な人への最後の手紙…。伝えたい思い、聞きたかった言葉、承ります。鎌倉を舞台にした代書屋の物語、『ツバキ文具店』の続編です。
君たちはどう生きるか	吉野源三郎	“自分の生き方を決定できるのは自分だけだ”と、人間としてあるべき姿を求め続ける、主人公コペル君と叔父さん。「子どもたちに向けた哲学書であり、道徳の書」として読み継がれてきた歴史的な名著。漫画版と同時刊行。
さよなら、田中さん	鈴木るりか	田中花実は小学6年生。ピンボーだけれど、底抜けに明るいたくましいお母さんと、毎日大笑い、大食らいで生きています。母娘を中心とした日常の事件を鮮やかなタッチで描いた連作短編、5編を収録。
日本語を味わう名詩入門 9 「萩原朔太郎・室生犀星」	萩原昌好	すぐれた詩人の名詩を味わい、理解を深める詩集。 萩原朔太郎・室生犀星はともに北原白秋の弟子で、大正から昭和にかけて新風を巻き起こした詩人です。
5分後に思わず涙 「青い星の小さな出来事」	桃戸ハル	涙に彩られた30の人生と物語が描かれた、「5分後シリーズ」の新刊です。
5秒後に意外な結末 「ミノタウロスの青い迷宮」	//	ブラックユーモア、風刺、恐怖、笑い…ページをめくれば驚きの結末！「5秒後シリーズ」の新刊。
昭和二十一年八月の絵日記	山中和子	懐かしい家族の情景、失われた言葉づかい…。昭和21年当時、小学校5年生だった著者の絵日記をフルカラーで収録しています。貧しいながらも心豊かな暮らしがあった、敗戦後一年目の夏がよみがえります。
刀語 第十話「誠刀」	西尾維新	誠刀「銚」の所在は陸奥の国。そこに突如出現した「仙人」は、とがめの心をかき乱します。
超凶解刀剣人物伝真打	刀剣人物研究会	名刀同士の意外な関係性や、所有者と刀の数奇な運命をイラストとともに紹介しています。

〈文庫本〉

ビタミンF	重松清
コード・ブルー 3rdシーズン 上・下	安達奈緒子

